

・横浜型小中一貫教育

南 中 ブロック

ブロック校 南中学校、大岡小学校、井土ヶ谷小学校

平成24年度より、横浜市立小・中学校では、全142ブロックで「横浜型小中一貫教育」が全面的にスタートしました。「横浜型小中一貫教育」とは、敷地や校舎を共有するなどの物理的な条件に関係なく、小中学校教職員が情報交換や連携をして、義務教育9年間の連続性を図った小中一貫カリキュラムに基づく教育活動を推進することです。このことによって、子どもの学力の向上や児童生徒指導上の課題の解消を目指します。また、南中ブロックでは、入学してくる近隣ブロックの「六つ川小学校」と連携して、参加して頂いています。

目的

- 「横浜版学習指導要領 指導資料」を活用する中で、PDCAサイクルを機能させ、学習指導と学習評価の一体化を図り、学力向上を目指す。
- 「授業を変える評価」「授業をつなげる評価」「授業を高める評価」の考えをふまえ、ブロック内でカリキュラムマネジメントに組織的に取り組む。

南中ブロックの取組の一部を紹介します。

〔合同研究会〕

小学校での授業参観の後、教科別会で授業をつなげる内容確認～授業を高める教材研究～などの研究を進めています。

〔合同授業研究〕

中学校の授業参観で教え子の成長を確認し、その後、教科別会で授業実践や一貫教育についての研究を進めています。

〔児童生徒交流日〕

(中一ギャップ解消!!)

小学6年生が中学校をおとずれ、中学の1年間の流れなどの説明を受け、部活交流も行います。体育館では、好きな部活の説明を聞き、その後、希望した部活の体験をしました。中学生とのふれあいで、不安も解消です。

